



苫小牧市議会議員
小山 征三

通信

『秋』号
2015年10月

小山せいぞう後援会

苫小牧市ときわ町 1 丁目 19-23

TEL 0144 (67) 8255

*** 新ときわスケートセンター騒音問題 ***

地域要望を切り捨て、地域に与えたものは騒音だけ！

*** 市側は、構造上の欠陥を認める ***

昨年 11 月にオープンした新ときわスケートセンターの騒音規制基準超過による近隣住民への騒音被害が 6 月議会で報告され、市側は「施工業者に瑕疵は無く、設計段階での見通しが甘かった」と陳謝しました。9 月議会では、新ときわスケートセンター防音改修工事費として、3,952 万 8 千円の補正予算が計上されたことから私は、構造上の欠陥施設と捉えるべきではないか見解を求めました。



平成 23 年の東日本大震災の教訓から新ときわスケートセンターの建設に当たり、防災機能を持たせ構造とすべきであると平成 24 年 9 月議会と平成 25 年 12 月議会などで提案し続けました。平成 24 年 6 月に道が示した津波浸水予測図によると、ときわ町は津波浸水地区となっているからです。そのことから新たに建設する新ときわスケートセンターは、一時避難場所として、屋上避難などが可能な構造とするべきであると訴えました。この地域の「まちかどミーティング」でも同様の要望が出されていましたが、市は、コスト抑制を理由に地域要望を切り捨て、地域に与えたのは騒音だけとなりました。

佐藤副市長は「欠陥と言われれば、そう受け止めるしかない」、佐々木副市長は「災害発生時の一時避難場所として活用は、考えなければならない」としました。また、今回の騒音問題に対して岩倉市長は「(騒音で) ご迷惑をかけている方にはお詫びを申し上げたい。周辺住民に歓迎される場所に造るべきであった」との答弁がありました。新ときわスケートセンターの建設に当たっては、議会や地域の声にももう少し真摯に耳を傾けていれば違う結果であったと言えます。

不適切な事務処理で、特別職の給与条例を改正

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

今回の専決処分は、法の拡大解釈では？

今議会で明らかとなった生活保護費の障害加算の誤認定など一連の不適切な事務処理に対する理事者の責任として、市長・副市長の給料 10% を減額したことが専決処分で報告されました。

地方自治法で規定する専決処分の事由は「特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき」と定められています。しかし、今回の専決処分は、議会招集告示日の 8 月 26 日の前日の 8 月 25 日に専決処分していました。私は、一連の不祥事による補正予算を議案として提出していながら市長・副市長の給与条例の改正は報告で済ませていたことを問題視。市長は、法に照らせば馴染まないが早急に信頼回復を図る必要があったなどと釈明しました。

専決処分とは：地方自治体の行財政運営は、議会の議決によることとされているが、自治法第 179 条第 1 項に規定する事由の場合は、市長が議会の議決を得ないで処分することができるとされている。今回の処分は、この条項のうち「特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき」に該当するとした。

法令解説では：緊急性の例示として、例えば、災害復旧事業に係る応急復旧事業のように、議会を招集して当該案件の議決を得てからでは時期を逸することとなるため専決処分を認めるとしている。

法の解釈変更は、国政においても安保法制の集団的自衛権行使で行なわれましたが、地方自治体として「法に照らして馴染まないが・・・」と認識しながら法の解釈を勝手に拡大すべきではありません。

まちかどミーティングのあり方を検討

「まちかどミーティング」は、市長が各地区を訪れて、住民と意見交換し、市政についての情報を共有することを目的としながら、昨年度の開催結果の取りまとめが遅れていることを指摘。今年の例で言えば、申し込み期限が6月12日、事前要望の締め切りは7月17日でした。しかし、昨年度の開催結果の公表が今年の8月であることを踏まえると開催だけが先行し、少し形骸化していると言えます。また、昨年度は、事前要望数が129件に対して、当日の要望、苦情が147件と当日の案件が多いことが明らかとなりました。

私は、個人の苦情を聞くことも行政として当然必要なことですが、その全ての仕切りを町内会などに委ねることに対して見解を求めました。市側は、公表の遅れを陳謝し、まちかどミーティングのあり方を検討したいとしました。

総務費

- ・ まちかどミーティングの結果公表の遅れについて
- ・ 苦情処理などが各部署で共有されていないことについて
- ・ スポーツ推進計画の策定状況について

民生費

- ・ 高齢者緊急通報システムの利用者の拡大について
- ・ 市立はなぞの幼稚園の廃園の検証について

土木費

- ・ 緑ヶ丘公園内の5カ所のゲートが適正に管理されていないことについて

苦小牧市議会の2014年 開会した。総務費の質疑で、度一般会計決算審査特別委員 小山征三氏・市民連合会（全多審美委員長）が28日、一は、市民からの苦情を集約にしたい」と陳謝した。

苦情の共有化検討

苦小牧民報

9月28日（月）

市民自治推進課では、要望、提案、苦情などを「市民の声」としてまとめていますが、庁内の各担当部署で直接受けた苦情などは把握していないことが明らかとなりました。また、様式や処理方法も統一されていないことから札幌市の広報広聴事務取扱規程を参考に改善を求めました。自治体の政策形成過程において、住民が不満等をもった場合に対応する制度は非常に重要です。市側は、各部署の横の連携が不十分であることを認め、今後、情報の共有と制度化を検討することを約束しました。

市立はなぞの幼稚園の廃園から1年6ヶ月
検証をするべき！

市教委は、平成26年3月31日をもって市立はなぞの幼稚園を廃園しましたが、同年4月の組織再編で幼稚園に関わる事務は、教育委員会から健康子ども部に移りました。この組織改編は、子ども・子育て新法の施行に向けて子供たちを取り巻く環境の変化に対応すべく組織強化を図るものです。また、教育長は「首長に権限が一元化されたとしても、目指すべき方向性の理解を共有することによって、今までどおりの執行が可能。これによる影響は少ない」と答弁していました。

一方で、はなぞの幼稚園の廃園に当たっては、多くの問題点が指摘されました。特に障がい児の受け入れでは、私立幼稚園20園中、13園が受け入れています。ほとんどの園が受入れ基準を設けていないことが分かりました。また、各園とも人材の確保や人件費、施設整備費に経費がかかることが課題で障がい児に対して充実した幼児教育を行うために補助金の適用範囲の拡大などを求めています。私は、市教委がまとめた廃園の際の問題点について検証を行っていないことを指摘。

佐々木副市長は、廃園後、受け皿として機能しているかどうか、市が考える幼稚園教育が来ているかどうか、健康子ども部で注視していく考えを示しました。私は、公共施設の廃止、指定管理や業務委託など適正に行われているのか今後もチェックしていきます。

《熱血現場主義》

小さなことでも身近な問題を地域から発信します！

URL : <http://www.tomakomai.or.jp/koyama/>

ゲートを不適切管理

金太郎の池、市議会で市陳謝

苦小牧市清水町の緑ヶ丘公園金太郎の池につながる市道出入り口ゲート管理に関する市議会一般会計決算審査特別委員会が28日、市議会に出席した。市議会一般会計決算審査特別委員会が28日、市議会に出席した。市議会一般会計決算審査特別委員会が28日、市議会に出席した。

苦小牧市清水町の緑ヶ丘公園金太郎の池につながる市道出入り口ゲート管理に関する市議会一般会計決算審査特別委員会が28日、市議会に出席した。市議会一般会計決算審査特別委員会が28日、市議会に出席した。市議会一般会計決算審査特別委員会が28日、市議会に出席した。

苦小牧民報

9月30日

水曜日

ト管理は一括して都市建設部が担い、管理方法については委託も含めて早急に結論を出す。他の施設の第三者委託についても、再点検する考えという。